

令和3年度事業報告書

(令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月31日まで)

【当法人の現況に関する事項】

第1 事業の経過とその成果

事業別	予算額	決算額	達成率
公益目的事業	32,121,186円	27,209,405円	84.709%

第2 資金調達等の状況

- 資金調達
なし
- 設備投資
なし

第3 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	35,538,915	35,639,162	35,329,675	34,204,298
評価損益等調整前 当期経常増減額	△747,067	△3,097,847	779,221	△800,972
当期経常増減額	△747,067	△3,097,847	779,221	△800,972
正味財産期末残高	903,770,792	900,672,945	901,274,470	900,473,498

第4 主要な事業内容

事業の重点を

- 広島県暴力団排除条例や暴力団対策法の浸透による県民の暴力団排除意識の高揚
- 被害者救済及び訴訟支援並びに暴力団離脱者の社会復帰対策等の推進と定め、「暴力団のいない安全で明るく住みよい広島県」を実現するため、以下の事業を推進した。

1 暴力団員による不当な行為を予防するための広報・啓発事業（公益目的事業1）

(1) 広報活動

ア 広報資料作成・配付等

- 暴力団員等からの不当要求などの被害を予防する目的で、ホームページや日刊新聞での広告等で事業等を紹介するなどの情報発信活動を行った。
 - ・ ホームページの更新
 - 4月講習日程更新
 - 5月財務諸表など更新
 - 6月暴迫だより更新 トピックス（理事会の開催など）更新
 - 7月講習日程更新（日程変更）

- 12月賛助会員用暴追だよりなど更新
- 1月賛助会員用パスワード更新
- ・ 朝日新聞の広告掲載
- 4月相談業務の広告
- 12月相談業務の広告
- ・ 広島中央警察署電光掲示板広報
- 各種会議や講習・研修会及び暴排団体，行政機関が開催する大会・総会等において配付するため，次の広報資料等を作成・購入して広報啓発に努めた。
 - ・ 暴追だより春号 10,000部
 - ・ 暴追だより秋号 1,000部
 - ・ 「企業・行政対象暴力の現状と暴力団情勢」冊子 3,000部
 - ・ 暴力団排除リーフレット 1,000部
 - ・ 暴追ポスター
 - 「全国センター」ポスター 500枚
 - 「カープ・堂林翔太選手」ポスター 4,500枚
 - 「カープ・栗林良吏選手」ポスター 6,500枚
 - 「広島ドラゴンズフライズ・朝山正悟選手」ポスター 2,500枚
 - ・ ボールペン 2,500本
 - ・ 暴追啓発クリアファイル 2,500枚
- 会議・研修会等への職員の派遣

本年度も新型コロナウイルス感染防止のため，会議・研修会等の実施が軒並み中止となり，職員の派遣等がかなり減少したが，実施できた各種暴排団体等が開催する会議・研修会等には職員を派遣して，暴力団情勢，不当要求への対応要領，県民会議の活動状況等の講演等を行い，緊密な連携により，県民の暴排意識の高揚に務めた。

月	出席会議等
4月	広島県企業防衛協議会幹事会 広島県警備業協会理事・幹事会
7月	民事介入暴力対策全国拡大協議会愛知大会 被害者支援研究会
9月	広島県警備業協会暴力団等反社会的勢力排除対策協議会総会
10月	CCAC例会
11月	民事介入暴力対策全国拡大協議会栃木大会 広島県暴走族・少年非行防止対策会議 広島県企業防衛協議会幹事会 広島県銀行警察連絡協議会運営委員会 全国暴追運動中央大会
12月	広島県警備業協会理事・幹事会 広島県遊技業協同組合青年部会 CCAC例会 広島県警察歯科医会年末意見交換会
1月	離脱者支援に関する説明会 広島市民球場暴力団等排除連絡協議会総会
3月	警備業協会理事・監事会

イ 視聴覚教材の貸出

令和3年度中、暴力団員等の不当な行為の特徴や、これらに対する対応要領などを紹介したDVD(30作品)を企業、行政機関等に45回無料で貸出した。

ウ 研修会等への講師派遣

新型コロナウイルス感染防止のため、企業研修や暴力追放運動、市(町)の会議等の実施が軒並み中止となり、職員の派遣・講演等が減少したが、派遣・講演等が実施できた研修会等では、広報資料を配付・活用するなどして、不当要求などの被害を防止するための対処方法を指導・助言した。

月	講演・研修会等
11月	日本道路建設業協会中国支部講演会 大竹市暴力監視追放協議会講習 少年指導委員研修会

(2) 啓発事業

ア 表彰

(ア) 県民会議会長等表彰

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年第1回定例理事会において実施していた表彰式を中止し、暴力追放運動に功労のあった5団体、個人9名に対しては推薦のあった警察署長から知事及び警察本部長連名の表彰状を、また、3団体に感謝状を県民会議専務理事からそれぞれ贈呈した。

功労団体表彰

- ・ 広島市遊技業防犯協力会
- ・ 呉観光社交事業組合
- ・ 安佐北地区建設業暴力追放対策協議会
- ・ 広島県理容生活衛生同業組合三次支部
- ・ 広島県立河内高等学校

功労者表彰

- ・ 濱岡文一 (広島市暴力追放監視防犯連合会・副会長)
- ・ 加藤恭弘 (福山北地区防犯連合会・会長)
- ・ 里武三 (府中暴力追放協議会・副会長)
- ・ 石井千之 (東広島市暴力監視追放協議会・副会長)
- ・ 上田秀樹 (三次地区暴力監視追放協議会・副会長)
- ・ 増本幹成 (広警察署管内建設業暴力追放対策協議会・副会長)
- ・ 岡田吉弘 (福山地区建設業暴力追放対策協議会・会長)
- ・ 浅田克也 (安佐北警察署管内暴力追放協議会・会長)
- ・ 吉田剛 (廿日市警察署管内暴力追放協議会・副会長)

感謝状

- ・ 株式会社プロバホールディングス
- ・ 株式会社広島東洋カーブ
- ・ 中国電力株式会社

(イ) 中国管区警察局長等表彰

1団体、1個人が中国管区警察局長と中国管区暴力追放運動推進センター連絡協議会会長の連名表彰を受賞した。

功労団体表彰

- ・ 福山市暴力監視追放協議会

功労者表彰

- ・ 塚本舜亮 (三原暴力監視追放協議会・会長)

(ウ) 警察庁長官等表彰

11月25日、東京「明治記念館」で開催された令和3年全国暴力追放運動中央大会において表彰式が開催されたが、新型コロナウイルス感染防止のため、栄誉金章、銀章受賞者及び団体表彰のみ招待されたため、県民会議が推薦し栄誉金章、銀章を受賞した2名は同大会に出席、栄誉銅章受賞者1名については推薦のあった警察署長から警察庁長官、全国暴力追放運動推進センター会長連名表彰状を贈呈した。

功労者表彰

- ・ 金章 内田喜久（府中暴力追放協議会・会長）
- ・ 銀章 作田寧秀（尾道警察署管内暴力追放対策協議会・会長）
- ・ 銅章 平本直樹（安佐南暴力追放防犯連合会・副会長）

イ 暴力追放県民大会の開催など

暴力追放県民大会は、5年毎に開催するため当年度の開催はなかった。

2 暴力団員による不当な行為の被害を予防するための救済及び監視・情報収集事業（公益目的事業2）

(1) 救済活動

ア 相談受理及び相談に対する助言

暴力団対策法に基づく暴力追放相談委員10名（弁護士6名、警察OB1名、県民会議事務局職員3名）を委嘱して、次のとおり暴力相談に対応した。

令和3年度の暴力相談受理件数は1,270件（前年比309件増）であり、反社会的勢力を各種契約から排除するための相談が9割を占めた。

民暴委員会、警察との連携と相談事案の確実な引継ぎについて、令和3年度中は、民暴弁護士への引継ぎは0件、警察への引継ぎは8件であった。

イ 少年指導委員の研修及び少年からの相談に対する助言

少年相談員の研修は新型コロナウイルス感染症対策のため、11月19日にweb会議方式により実施した。

少年の暴力団への加入や暴力団から被害を受けた等の相談受理はなかった。

ウ 暴力団離脱者からの社会復帰相談の受理及び協力報奨金の支給

○ 社会復帰対策

① 協力事業所への優遇措置

広島市、広島県、呉市、東広島市、三次市において、離脱者の受入事業所として登録された建設業者に対する公共工事への優遇措置を行っている。

証明書について1件発出。

② 広島県暴力団離脱者社会復帰対策協議会

暴力団離脱者の社会復帰を促進するため、広島県警察本部、広島刑務所、広島拘置所、広島保護観察所及び広島労働局等で構成する「広島県暴力団離脱者社会復帰対策協議会」情報連絡会を10月15日に開催、総会を10月28日に開催し、情報交換を行った。

エ 被害者に対する見舞金の支給

見舞金の支給事案はなかった。

オ 被害者救済及び訴訟支援

○ 訴訟支援を行う必要のある相談について新たなものはない。

○ 差止請求業務は、広報したが取扱いはなかった。

カ 関係機関との連携強化

例年開催される広島弁護士会民事介入暴力問題対策委員会、警察との民暴勉強会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となったが、勉強会で使用する予定であった資料により「暴力団離脱者の預金口座開設に関わる取り

組み」などを把握でき、また、面接ができない部分を電話やメールなどにより連絡を取り合い、さらなる連携強化に努めた。

(2) 監視活動

ア 暴力団監視・追放活動に対する助成

暴力団の活動実態等を把握するため、関係機関団体と情報交換による監視を徹底した。

常勤の監視員を置く広島市、呉市及び府中市の暴力追放組織3団体に対して助成金を交付するとともに、積極的な情報交換を行って活動の活性化に努めた。

イ 民間の自主的組織活動の支援と情報交換

各種暴排団体等が開催する総会等18回、職員を派遣して、支援と情報交換を図った。

ウ 暴力監視モニターによる監視活動

暴力団事務所が所在し、暴力団が活動拠点を置く広島市、尾道市などの居住者を中心に12名を「暴力監視モニター」に委嘱し、県下の暴力団に対する監視活動の強化を図っている。監視モニターからの情報は4件で、共政会関係や総会屋の動向などで、いずれも組織犯罪対策課に引き継いだ。

(3) 調査・情報収集活動

ア 警察本部、関係警察署及び広島県暴力監視追放防犯連合会など関係機関、団体と随時情報交換を行い、関係資料の収集に努めた。

イ 日刊新聞紙に掲載された暴力団に関する記事16件をデータベース化し、各業務に活用した。

ウ 暴力監視モニター及び暴力監視員の運用などにより暴力団員等の実態を把握し法人の事業に反映させた。

3 暴力団員による不当な行為を予防するための事業所責任者に対する講習事業（公益目的事業3）

(1) 講習技能の向上

4月21日、全国暴力追放運動推進センター主催の「暴力追放相談委員及び講習担当者研修会」がWeb方式で開催され、講習指導員が参加し、指導員としての向上を図った。

民暴弁護士11名12回、警察OB2名4回講師として招へいして講習体制の整備充実に努めた。

(2) 講習概要

新型コロナウイルス感染防止のため、開催日が変更になることがあったが、広島、福山、尾道、三次の4会場において、計46回開催し、1,704人が受講した。

区 分	実施回数	受講人員	前年度対比
選任時講習	20回	686人	+9回 +242人
選任講習（臨時）	1回	40人	+1回 +40人
定期講習	25回	978人	-8回 -293人
計	46回	1,704人	+2回 -11人

講習内容は、広島県警察と締結している委託契約、委託契約約款及び委託要綱に基づき、適正かつ効果的なものとなるよう配意した。また、講習効果を高めるため、パワーポイントや暴排啓発DVDを積極的に活用するとともに、暴追だより、教本等を配付し、講習の充実に努めた。

4 内部管理機能の強化

(1) 内部管理の徹底

ア 金融・経済情勢には細心の注意を払い、基本財産の適正かつ効率的な運用によって事業資金を確保するとともに、情報収集を徹底し、善管注意義務を果たすよう努めた。

イ 新型コロナウイルス感染防止のため、例年行われている研修会が中止となり、参加可能の研修会が公正取引委員会事務総局開催の1回のみであったが、担当職員を派遣して実務能力の向上に努めた。

(2) 個人情報保護の徹底

ア 暴力団等反社会的勢力に係る情報提供について、情報漏洩防止から全国センターとの専用回線によるパソコンの使用及び相談システムパソコンのオフライン化を図り、情報提供の運用要領により、適正な運用に配意し個人情報の保護を徹底した。

イ 情報管理連絡会議等への参加

令和3年9月14日、「全国専務理事等研修会」をインターネット会議で実施し、専務理事が出席し、適格都道府県センター訴訟の事例発表や警察庁暴力団排除対策官による「暴力団情勢と暴追センター活動」の講演等を聴講し、全国の現状について研修を受けた。

(3) 適正な予算執行等

ア 適正な予算執行と財産管理を行うため、内閣府からの「公益認定委員会だより」に基づく、具体的事例を周知して、財産管理の適正化に努めた。

イ 小口現金、基本財産をはじめとする債券、預金残高と帳簿の照合を毎月始めに定期的に行うなど、的確な資金管理により不正経理の防止に努めた。

5 役員等に関する事項

(1) 評議員（10名）

（令和4年3月31日現在）

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他法人等の代表状況等
会長	延川 章喜	4年	非常勤	無	広島県暴力監視追放防犯連合会会長
副会長	山中 裕之	〃	〃	〃	広島県環境県民局県統括官
副会長	上新 宏一	〃	〃	〃	広島県警察本部刑事部長
評議員	荒木 敏明	〃	〃	〃	（社）広島県医師会事務局長
〃	佐々木克己	〃	〃	〃	（一社）広島県生活衛生同業組合連合会会長
〃	市川 幸子	〃	〃	〃	広島県地域女性団体連絡協議会事務局長
〃	植野実智成	〃	〃	〃	広島県商工会議所専務理事
〃	八崎 則男	〃	〃	〃	広島県保護司会連合会会長
〃	岩崎 澄子	〃	〃	〃	広島県少年指導委員連絡協議会会長
〃	小池 英樹	〃	〃	〃	（社福）広島県社会福祉協議会常務理事兼事務局長

(2) 理事 (14名)

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他法人等の代表状況等
理事長	森川 和彦	2年	非常勤	無	白島綜合法律事務所長 弁護士
専務理事	上川 秀樹	〃	常勤	有	なし
理事	金光 義雅	〃	非常勤	無	広島県市長会・町村会 事務局長
〃	豊田 由之	〃	〃	〃	広島県教育委員会事務 局教育部豊かな心育成 課長
〃	田中 徹	〃	〃	〃	(公社) 広島県トラッ ク協会常務理事
〃	水野上広司	〃	〃	〃	(一社) 広島県銀行協 会専務理事
〃	中上 敏彦	〃	〃	〃	広島県警察本部組織犯 罪対策局長
〃	川上 和樹	〃	〃	〃	(一社) 広島県警備業 協会専務理事
〃	迫谷 富三	〃	〃	〃	広島県建設業暴力追放 対策協議会会長
〃	高橋 彰	〃	〃	〃	広島弁護士会民事介入 暴力問題対策委員会 委員長
〃	石川 薫	〃	〃	〃	広島県信用組合協会常 務理事
〃	原田 修治	〃	〃	〃	広島県遊技業防犯協力 会連合会専務理事
〃	水野 浩一	〃	〃	〃	日本証券業協会証券保 安対策支援センター広 島駐在専任主事
〃	久保 美貴	〃	〃	〃	広島県警察歯科医会委 員

(3) 監事 (2名)

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他法人等の代表状況等
監事	高橋 義則	2年	非常勤	無	高橋公認会計士・税 理士事務所, 公認会 計士, 税理士
〃	伏見 光暁	〃	〃	〃	日本道路建設業協会 中国支部長

(4) 退任した役員等

(令和4年3月31日現在)

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
棟杉 孝	評議員	R3. 4. 14	職場の人事異動による辞任
小川 元史	〃	R3. 4. 14	〃
衣笠 正純	〃	R3. 7. 14	〃
矢野 明男	理事	R3. 4. 14	〃
阿部 由貴子	理事	R3. 4. 14	〃

(5) 役員等の報酬等

(令和4年3月31日現在)

区分	人数	報酬等の総額	備考
専務理事	1人	7,000,000	

6 会計監査人に関する事項

- (1) 会計監査人の氏名又は名称
なし
- (2) 当該事業年度に係る会計監査人の報酬等の額
なし
- (3) 責任限度契約の内容の概要
なし

7 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要
なし

第5 従たる事務所の状況
なし

第6 主要な借入先及び借入額
なし

第7 重要な契約に関する事項
なし

第8 会員に関する事項 (令和4年3月31日現在)

種 類	前年度末	当年度末	増 減
正 会 員			
一般会員			
賛助会員	887	905	+18
そ の 他			
合 計	887	905	+18

第9 職員に関する事項 (令和4年3月31日現在)

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事 務 局 長	上川 秀樹	R2. 4. 1	事務局統括	※理事長・専務理事兼務
事務局次長	市原 正兼	H24. 4. 1	事務局統括補佐	
総務課長	藤原 茂	R2. 4. 1	総務事務	嘱託雇用
事業課長	大須 健史	R2. 4. 1	事業事務	
主任主事	小迫 悦子	H29. 4. 1	経理事務	再雇用
主事	中津 恵子	R3. 4. 1	経理事務	臨時職員

※ 理事長職は、暴力団事務所使用差止請求業務に限る。

第10 役員会等に関する事項

ア 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
R3. 5. 27 (定例理事会)	・ 令和2年度事業報告、収支決算 (案) ・ 定時評議員会の招集 (案) ・ 評議員及び理事並びに監事の改選(案) など	全議案承認
R3. 8. 31	・ 寄附金の受入 (案)	みなし決議
R3. 3. 24 (定例理事会)	・ 事務所本移転計画の凍結に伴う事務所移 転費用の特定費用準備資金取り崩し資金 の事業費への繰り入れ (案) ・ 特定費用準備 資金への積立計画(案) ・ 令和4年度事業計画、収支予算 (案) など	全議案承認

イ 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
R3. 4. 9	・評議員，理事選任と辞任（案）	みなし決議
R3. 6. 21 (定時評議員会)	・令和2年度事業報告・収支決算（案） ・定期預金中の基本財産1億円の債券運用（案）	全議案承認

ウ 財産管理運用委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
R3. 2. 25	・基本財産（国債）の運用（案） ・基本財産（地方債・地方公共団体金融機構債）の運用（案） ・定期預金等（基本財産・特定資産）の運用（案）	全議案承認

第11 許可，認可，承認等に関する事項

なし

第12 株式を保有している場合の概要

なし

第13 対処すべき課題

令和2年度から。コロナウイルス感染症の拡大に伴い暴力団排除活動の大半が中止若しくは延期となるとともに，現況不況に伴い賛助会費が減少傾向にあり，継続的な活動及び運用資金の確保が課題となっている。

